

日本共産党東京都議会議員 (厚生委員)

# 藤田りょうこの都政報告



連絡先 藤田りょうこ事務所 大田区西蒲田6-34-7  
☎ 3736-1494 fax 3735-4522

藤田りょうこ 検索

発行 日本共産党東京都議団 新宿区西新宿2-8-1 ☎ 5320-7270

開放型の築地市場とは違い、豊洲市場は閉鎖型の施設です。共産党都議

## 清掃の徹底やタイヤの改善などを答弁

豊洲市場では、開場直後からのどの痛みやせきなどの体調不良を訴える声が相次いでいました。共産党都議団は、市場内に堆積する黒い粉じんの調査により、カドミウムやアンチモンなどの健康に有害な重金属が高濃度で検出されたことを受け、都議会でも徹底追及しました。



## 豊洲市場

高濃度の重金属

## 黒い粉じん

## 予算特別委員会で追及

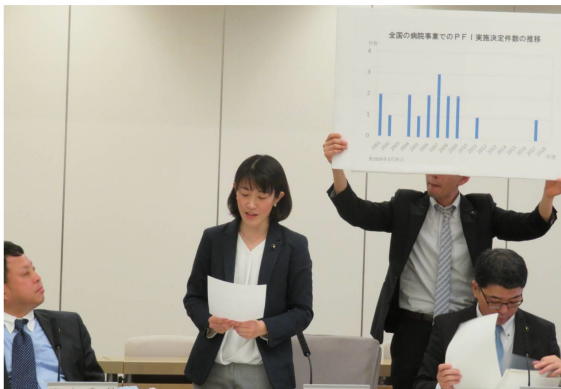
第一回定例会

含まれていた重金属	国内の道路粉じんと比べ	考えられる人体への影響
アンチモン	8.1倍	長期間摂取した場合肺炎、気管支炎などの恐れも
カドミウム	4.8倍	体内に蓄積すると腎臓障害の恐れも

共産党都議団は、粉じんの成分調査を行うよう繰り返し求めましたが、都はあくまでも「衛生環境は良好」と発言し、調査の必要性を認めませんでした。都と小池知事は市場の開設者として、労

## 都は市場労働者の健康を守れ!

団の追及により、都は、ターレット(小型運搬機)の走行方法や清掃について徹底することや、摩耗しづらい品質のタイヤの導入について研究を進める等の答弁をしました。



【写真上】病院でのPFI事業の実施決定数は減少しているグラフを示す藤田都議(3月15日厚生委員会)聞き取る藤田都議(3月7日)



## 膨らむPFI 事業への支出

東京都は、府中市にある神経病院の建替えに際し、PFI手法(民間に施設整備や公共サービスの提供をまわることゆだねる手法)も含めて検討することとしています。

これまで都は、4病院の建設や管理運営にPFI事業を導入してきました。厚生委員会で、駒込病院と多摩総合医療センター・小児総合医療センターのPFI事業の支出が増え、それを追認するような契約更

## 神経病院は民間任せでない整備を

藤田都議 厚生委員会 質疑

働者の健康を守る責務があります。体調不良の原因究明と対策を講じるよ

う、引き続き求めてまいります。

## 専門性の高い神経病院

新がされるなどと言うことは決してあってはならない」と厳しく指摘しました。

神経病院は、専門性の高い医療を必要とする難病患者さんが入院する病院です。視察では、病状にあわせて廊下や部屋の入口に様々な工夫が施されていることがわかりました。神経難病では人工呼吸器が必要になることが多く、ベッドまわりが個別対応できたり、コミュニケーションツールの研究をされたりしていま

た。専門性の高さから見ても、患者などの意見を反映させるためにも、民間任せのPFI手法は行うべきではありません。

# 「区市町村の取り組みを支援」と答弁

「区市町村の取り組みを支援」と答弁

70歳以上の高齢者の半数は、加齢性の難聴と推定されています。共産党都議団はこの問題を重視し、2月の議会で「補聴器購入費助成」など、利用促進対策の拡充を提案しました。都も「聞こえの支援など、高齢者を支える区市町村の取り組みを支援してまいります」と答えました。

## 補聴器使用で生活の質が改善!

お話を伺った70代の方は「人の声が聞き取りづらくチグハクなことを言っているよくない」と思ひ、箱形補聴器を購入したところ、よく聞こえるようになった」と



大田区内のご婦人からお話を聞きました (5月3日)

党都議団報告2019年春号の「聞こえのバリアフリー」に大きな反響!

のことでした。

日本補聴器工業会の調べでは89%の方が「補聴器使用で生活の質が改善した」と答えています。

しかし日本での補聴器の利用率はわずか14%であり、普及には課題があります。

## 購入費用補助の拡充を!

補聴器は1台平均15万円と高額です。しかし、大田区の補聴器購入費助成は、70歳以上で非課税世帯の方(医師の診断書が必要)に限られるため、助成を受けられていない方は毎年80人程度。さらに、区の助成額は2万円なので、それを超えた額は本人負担となります。都は補聴器の購入費補助などの区市町村の取り組みに対し、半額を支援していますが、区市町村にはあまり知られておらず、大田区も支援を利用していませんでした。都の支援の充実と周知徹底を進め、より多くの方が早期の段階で補聴器を購入し、コミュニケーションでの障害(バリア)がなくなるよう、取り組んでまいります。

## 身近な問題、お気軽にお寄せください

### 環境 大田区南東部にある内川 についての相談

ふるさとの浜辺公園から大森西の東海道線直下まで伸びる「内川」は、全川が潮汐に応じて水位が変動する感潮河川で、東京都が管轄しています。

相談の1つ目は、係留場にゴミがたまりやすいため、ごみの清掃は大田区が行っていますが、清掃回数を増やすとともに、係留場の改善を求めました。

相談の2つ目は橋の老朽化です。水門の先の橋は入り口を柵で仕切られていましたが、立ち入らないよう注意を促す必要があると

### 内川の環境改善を要望

ふるさとの浜辺公園隣にはビーチバレーコートがあり、2020年大会時には練習会場として利用されます。東京都建設局は大会以降、「内川河川建設計画」



係留場から見た内川



貼り紙を設置した橋の視察 (4月23日)

指摘し、所管である下水道局に貼り紙を設置してもらいました。にて、護岸の耐震化整備を予定していること。私は、整備の際に区民の声を聞きながら、総合的に改善を図るよう要望しました。

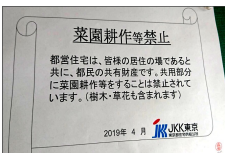
### 都営住宅 業者による手入れ 一回13万円

都は都営住宅敷地内での菜園を禁止していますが、以前は自治会で話し合い、花壇に草花を植えて育てていたとのこと。草花の栽培ができなければ、花壇の手入れを業者に頼むことになる

### 区の事業を活用し 菜園活動を支援!

都に聞き取りをしたところ、2018年4月から「住民自治会で合意し、地元区が実施する緑化事業に該当すれば許可」していることがわかりました。また大田区としては、「18色の緑づくり支援」事業が都営住宅の敷地内で可能とのことでした。「公有地」という事で制限が多くなりがち

ですが、活用できる制度の紹介などで、引き続きさらに役立つ支援を行ってまいります。



↑都営住宅で、の貼り紙

大田区内の都営住宅にある花壇を視察 (4月23日)



### 略歴



●1974年8月11日生。東京都大田区出身。●1996年東京都立医療技術短期大学看護学科卒。20年間、看護師として従事。●2017年東京都議会議員選挙に初当選。都議会厚生委員●池上在任。

都政へのご意見、ご要望をお寄せください